

茨城県下妻市被害調査報告

1. 被害概要

市役所ヒアリング 建設部、生活環境課

現在、外部に被害判定依頼中のため、集計中の暫定値で、26日に県に報告予定。

平成23年4月2日現在

市町村	住家被害			非住家	
	全壊棟	半壊棟	一部破損棟	全壊棟	半壊棟
下妻市	7	13	2,667	3	2

- ・住家被害、全壊のうち数棟は、液状化による被害。その他は、確認中。
- ・住家被害、一部破損は、屋根瓦被害、ブロック塀被害（870ヶ所）を含む。
- ・非住家は、全ての確認はとれていないが、物置、納屋の類。

昔の鬼怒川の流域である鬼怒団地での液状化被害による住家被害が大きい。

市役所ロビーのトップライトの網入りガラスが破損。雨樋ジョイント破損多数。

現在、市役所脇の消防署望楼解体工事中。以前から老朽化していたが、今回の地震でひび割れが大きくなり解体。

2. 調査概要



図1 調査地域

調査は、平成23年4月22日に実施した。

調査地域を図1に示す。294号線を北上して下妻市入り。関東常総線を超えるあたりから屋根瓦被害多数。市役所ヒアリング後、鬼怒団地にて調査。

3. 被害状況

(1) 市役所周辺

市役所ロビーのトップライトの網入りガラスが破損。雨樋ジョイント破損多数。

現在、市役所脇の消防署望楼解体工事中。以前から老朽化していたが、今回の地震でひび割れが大きくなり解体中。



市役所外観（左が、望楼）



市役所ロビートップライト

(2) 鬼怒団地周辺

1 街区で大規模な液状化が発生しており、3 棟の木造住宅の地盤が大きく傾斜。隣接、道路でも液状化による割れ、凸凹が発生している。隣接街区でも液状化発生の際跡はあるが、大きな残留被害はなし。



道路の被害（右が被害住宅敷地）



鬼怒 詳細地図



被害住宅



隣接住宅地（液状化軽微）

液状化の被害を受け地盤が大きく傾斜した住宅 A、B、C。現在も居住中。住宅 A、B の北東側の敷地では、液状化のために大量の砂が噴出、堆積している。建物の損傷は見られず、建物全体が大きく傾斜している。



住宅 A、B



住宅 B、A



住宅 B (北東に流動)



住宅 C

(3) 鬼怒川沿い

現在の鬼怒川沿いの地域では、液状化被害は見られず、瓦屋根の被害が散見されるのみ。



鬼怒川沿いの地域の屋根被害



鬼怒川堤防脇